

生駒市立病院についてのアンケート調査結果概要（診療所向け）

1. 調査の概要

（1）調査の目的

平成 27 年 6 月に生駒市立病院が開院することを踏まえ、市内の診療所を対象として、現状における医療連携の状況を把握するとともに、今後、生駒市立病院と連携するに当たっての期待や要望を把握し、医療連携のあり方を考える資料とすることを目的として、アンケート調査を実施した。

（2）調査の実施方法

- 調査対象 : 生駒市医師会の会員である医科診療所 70 院。
- 調査票の配布と回収 : 各医科診療所に対して郵送により調査票を配布、回収。
- 回収状況 : 回収数 : 53 件（回収率 : 75.7%）

（3）調査項目

■医科診療所の属性 :

- ・問 1 診療科
- ・問 2 所在地

■現在の医療連携の状況 :

- ・問 3 市内診療所との連携関係
- ・問 4 市内外の病院との連携関係（救急を除く）
- ・問 5 救急の場合の送り先となる市内外の病院

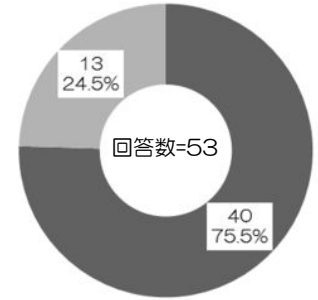
■市立病院に対する期待・要望 :

- ・問 6 市立病院に患者を紹介するために市立病院が備えるべき条件
- ・問 7 市立病院が二次救急医療の取り組みを行う場合に備えているべき条件
- ・問 8 市立病院が実施予定の取組への利用意向（在宅患者への処置等、開放型病床、医療機器、手術室）
- ・問 9 市立病院が実施予定の取組への参加意向（地域連携パス等、医療講演会、医療教育プログラム、症例検討会等）
- ・問 10 診療情報の共有化システムへの参加意向
- ・問 11 地域包括ケアシステム構築に向けて市立病院が果たすべき役割
- ・問 12 市立病院への期待、要望（自由意見）

2. 調査結果の概要

○75.5%の診療所が他院と診療・検査の依頼などの連携を行っている。
 ○入院紹介、治療・検査依頼など、市内外の病院との連携が見られ、特に近畿大学医学部奈良病院との繋がりが強い。
 ○診療所からの主な救急搬送先としては、近畿大学医学部奈良病院を始め、白庭病院、阪奈中央病院の役割が大きくなっている。

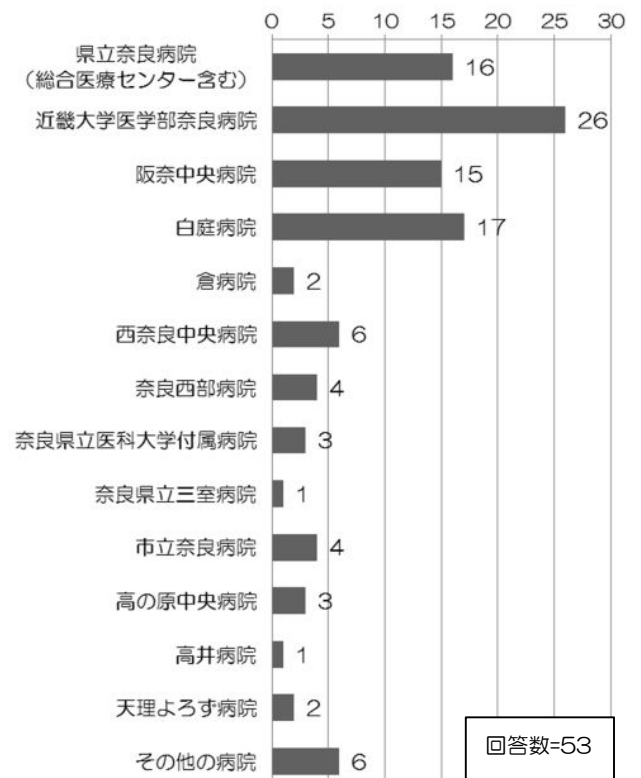
■他院との連携の有無



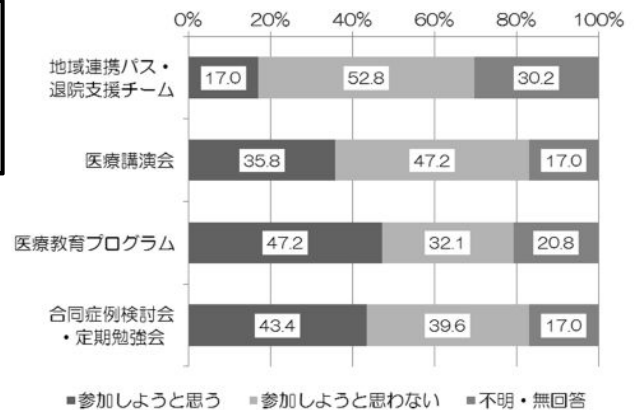
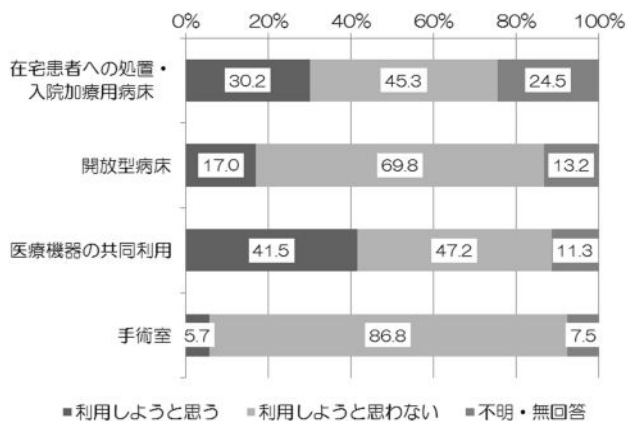
■診療所の連携先の病院



■診療所からの救急搬送先の病院



○市立病院の取組への利用・参加意向では、医療機器の共同利用、医療教育プログラム・合同症例検討会等への参加の希望が比較的高くなっている。



生駒市立病院についてのアンケート調査結果概要（患者向け）

1. 調査の概要

（1）調査の目的

平成 27 年 6 月に生駒市立病院が開院することを踏まえ、病院開院に先立ち、市民の生駒市立病院に対する期待、望を把握し、今後の医療連携のあり方を考える資料とすることを目的として、アンケート調査を実施した。

（2）調査の実施方法

■調査対象：生駒市医師会の会員である医科診療所 70 院に来院する患者。

■調査票の配布と回収：

- ・生駒市医師会事務局より各医科診療所に調査票を郵送（平成 26 年 3 月 28 日に各医科診療所に発送）。
- ・平成 26 年 3 月 31 日から平成 26 年 4 月 7 日まで受付に調査票を配置（来院した患者に配布）。
- ・回答後の調査票を平成 26 年 4 月 8 日までに受付にて回収。
- ・各医科診療所から回答後の調査票を生駒市医師会事務局に郵送。

■回収状況：回収数：1,254 件（41 院で回収）

（3）調査項目

■回答者の属性：

- ・問 1 性別
- ・問 2 年齢
- ・問 3 居住地
- ・問 4 職業
- ・問 5 病院・診療所での受診の頻度

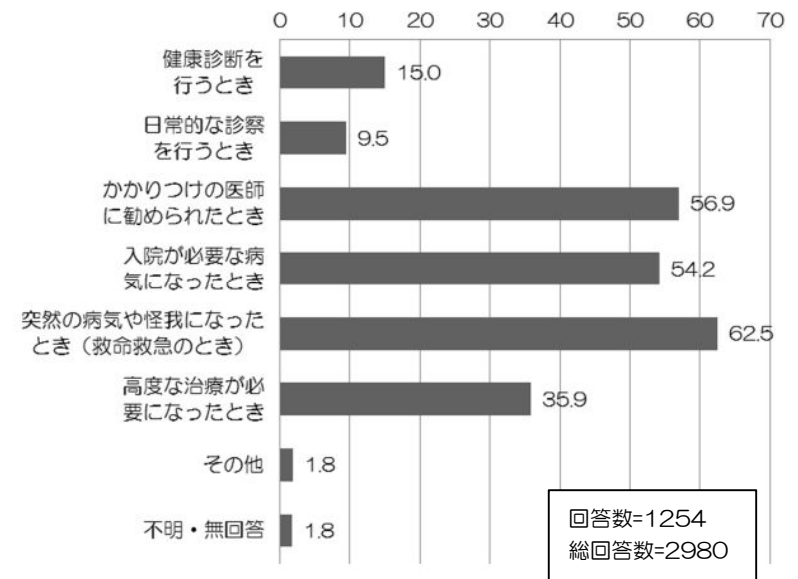
■生駒市立病院に対する期待・要望：

- ・問 6 市立病院を利用したいとき
- ・問 7 市立病院に特に期待していること、求めること

2. 調査結果の概要

- 市立病院の利用を希望するのは、「救急救命のとき」が最も多く、「かかりつけ医に勧められたとき」、「入院が必要となったとき」がこれに続いている。
- 市立病院に対しては、「救急医療」に対する期待あるいは要望が特に大きくなっている。
- 「多様な診療科目を備え1つの病院で様々な診察がしてもらえること」への期待も大きくなっている。

■市立病院を利用したいとき



■市立病院に特に期待していること・求めること

